

## 成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

# 電気亜鉛メッキ 新生化学工業株式会社

## 38歳で事業承継 さらなる成長を見据え 会社を革新

多可町でメッキ加工業として事業をスタートし、今年創業60年を迎える同社。電気亜鉛メッキ専業で培った提案力、さらにはメッキ加工の出来栄を決める脱脂、酸洗、電気分解での丁寧な仕事と、美しい仕上がりのための水洗い作業などひと手間を惜しまない姿勢や、難しいマスクング処理への対応などで顧客からの信頼を獲得してきました。現在は農機具、自動車、鉄道車両部品等で多様な素材、形状のメッキ加工を行っています。

2019年7月に3代目社長に就任した杉本膳寿氏は10年前、勤めていた金融機関を退職し、事業承継のために戻ってきました。会社員時代に多くの会社を見てきた経験から「小規模だからこそできることがある。家業には合理化できる余地が多分にある」と感じ、なりわいから企業へと発展させる覚悟を決めました。

戻った当初は技術面の習得と経営面の改善の両立が困難で頭の痛い日が続いたそうですが、多可町商工会の支援を

全面に受け、技術者としても経営者としても力を付けてきました。従来の全自動メッキ槽に加え、機動的で加工スピードの速い手動槽を導入するなど積極的な投資も行ってきました。

社長に就任後、経営で大切にしているのは「長く継続できる企業体にしていくこと」。そのためのテーマとして「技術レベル、品質のさらなる向上と効率化」を掲げ、社員と密なコミュニケーションを図り、勉強会や研修会、フォローアップを実施しているほか、終業後の清掃活動を毎日欠かさず行っています。昨年は会社のホームページを開設し、口コミに頼っていた営業活動の間口を広げ、「知名度を高め、県外企業に出ているメッキ加工の受注を増やしていきたい」と言います。

製造業にとってメッキ加工は欠かせない工程であり、県中北部の製造業を支える、中核を担う企業を目指して日々邁進していきます。



自動槽に続いて導入した手動槽



社員一丸となって改革を進めています

◎新生化学工業株式会社の  
電気亜鉛メッキ

新生化学工業株式会社 / 所在地: 多可町中区靴屋203 / 代表取締役: 杉本膳寿  
事業内容: 電気亜鉛メッキ加工全般  
TEL 0795-32-0240 / URL <https://shinsei-c-i.co.jp/>

# JUMP

2020年5月号 令和2年4月30日発行  
発行人: 赤木正明 編集人: 政辻孝克

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター

神戸市中央区東川崎町1-8-4

神戸市産業振興センター1階・2階・7階

TEL 078-977-9070(代) URL <https://web.hyogo-iic.ne.jp/>

6月号休刊のお知らせ

政府の緊急事態宣言の発令を受け、本誌の取材・編集業務を自粛することとなりました。つきましては2020年6月号を休刊します。